

点描ぐんま経済

日銀支店長

見聞録

51

「人生、色々。男も色々。女だって色々咲き乱れるの。」。これは有名な歌の歌詞。種類が多い様を言う時に「色々」を使う。さまざまなものがある状態を表現する時に、さまざまな色が配されている状態を示す言葉を使うのは、面白い。

そういえば、最近良く見る「SDGs（持続可能な開発目標）」のバッジは、17個の目標を表す17色が彩られている。ちなみに、「SDGs」は、国連が2015年に定めた30年までの国際社会共通の目標であり、地球規模の行動を求めている。

緑色の手術着

機会があったからだ。その講演では、人間の五感（視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚）のうち視覚のウエートが一番高くて87%であるということを聞いた。人間の第一印象は見た目が大事だということだ。

また、①各個人にパーソナルカラー（個人的に似合う色）がある

ちらつき抑える補色

なぜ、このような書き出しになったかと言えば、ある異業種交流会でカラーコーディネーターの話を押聴する

緑がちらつき抑える

た。

会の冒頭では、自分の好きな色の色紙を選ぶところから始まった。

らしい。これを「補色」と言ったらしいが、手術中に「補色」の緑がちらつかないように、手術着が緑色になっているとのこと。知らなかった。今後、医療ドラ

載されている。「業種

好きですか？



岡山和裕（おかやま・かずひろ） 1969年7月生まれ。兵庫県出身。東京大法学部卒。92年日本銀行に入り、業務局統括課長、決済機構局業務継続企画課長、情報サービス局総務課長などを経て、2018年4月から現職。

ことの身に着けているマをみる時の楽しみが色でその人から受ける印象が変わること」を教えていただいた。

さて、「手術着が緑色である理由」が面白かった。手術は血すなわち赤を見ることが多く、赤を長く見続けた後に白を見ると、緑がちらつき抑える

マをみる時の楽しみが増えた。

あと、着る服については、基調となる色から70%程度、従属する色が25%程度、そしてアクセントになる色が5%程度になると良いらしい。ファッションに疎い私には初耳だった。

ところで、この講演の垣根を越えて、地域のために、企業として個人としてできることを共に考え、実現していくことを趣旨とされている。こうした取り組みは、地元根差した地道な活動だと思う。息長く続くことを期待したい。